

令和5年度(2023年度) 公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告書

脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化防止等を含む環境への負荷を少なくする循環型社会を構築し、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践、また環境保全を定着・促進するため、市民の参加の下に次の事業を行いました。

1. 公益目的事業として、次の事業を実施しました。(公1)

(1) 啓発・普及活動に関する事業

ア. 市民工房の運営(受託事業)

市民工房は、市民の日常生活に密着し、修理・再生により使い続けることのできる物品の展示事例と、日本人固有のもったいない精神に裏付けられた技術伝承の場の提供や確保を主たる目的として活動しました。ここではジェンダーやジェネレーションを問わず、来館者が楽しみながらリユース(再利用)及びリサイクル(再生利用)できるよう、日々親しみやすく学びやすい雰囲気向上に努めて、修理・再生・リフォームの助言・指導を行いました。併せて再生材料を用いて制作した成果品を展示し活用しました。

またCO₂削減の視点から、緑工房ではCO₂を吸収する森林資源の保護、木工工房ではCO₂の吸着固定効果のない加工された木材の再生利用、自転車工房では生産過程のCO₂排出は別として、製品化以降は移動手段としてはCO₂排出のない自転車の修理と再生利用等、環境負荷の低減に役立ち、人間の健康維持にも効果が見込まれる啓発活動に取組みました。また布工房では対象とする衣類が暑さ、寒さから人間の生命維持のためのエネルギー消費の軽減に役立つという啓発活動に努めました。布、緑、自転車、木工の各工房は、こうして脱炭素社会、地球温暖化防止等をはじめとする環境問題に市民参画の下で実践を通じて貢献する場として運営しています。

工 房 名	対象品	見学者数	実技受講者数 (再掲)	成果品展示数
布工房	衣類	1,798名	1,702名	113点
緑工房	紙パック	591名	564名	42点
自転車工房	自転車	231名	166名	112点
木工工房	家具類	1,322名	1,027名	251点
合 計		3,942名	3,459名	518点
合 計 (前年度)		4,868名	4,245名	394点

イ. 視察・見学者の対応(受託事業)

視察や見学では吹田市小学4年生の見学については教育委員会と連携を図り、他市小学校、地域の自治会等の見学対応も行いました。見学者に市民工房及び市民研究所の設置意図や活動目的を的確かつ明瞭に説明し、環境問題に対する訴求力を高めていきました。

5人未満のグループであっても館内各所に表示されたQRコードを、来館者が自らのスマホで順番に読取することで、施設案内人を要せず館内の見学ができるシステムについては、一部区間で先行テスト運用している段階ですが、有識者による第三者モニタリングで基本コンセプトに基づく統一された施設のインテリアやデザインの要請があり、外部業者を交えた再検討を念頭に置き、時間をかけてさらに完成度を高めたものを令和6年度中に実施するよう準備を進めます。

区 分	団 体 数	人 数	前 年 度	
			団 体 数	人 数
小～大学生	52団体	4,813名	46団体	4,178名
市民団体	17団体	311名	9団体	144名
行 政	1団体	5名	4団体	55名
民間企業	3団体	77名	4団体	62名
海 外	4団体	66名	1団体	9名
計	77団体	5,272名	64団体	4,448名

ウ. 環境啓発動画コンテスト事業(受託事業)

地球温暖化防止やごみ問題における3Rの取組等について、SDGsの枠組みを踏まえ、全国版の雑誌やHPを通じて環境啓発動画を広く募集し、コンテストの実施により環境問題や環境保全への市民の積極的な活動参加を促しました。優秀作品は表彰するとともに、様々な機会を捉えて多くの市民の目に触れるようにし、市民目線で環境啓発を考える有効な成果物として活用していきます。今年度は評価の観点をより明確にするとともに、応募作品全体の講評をフィードバックすることで、応募者への環境啓発という側面も新たに付加し、またコンテスト参加者同士の横のネットワークの構築にも繋がるよう、過去の受賞者を主とするリモートを活用した交流会を実施しました。

実施日	内 容	対象者	応募作品及び受賞作品数	
			本年度	前年度
7月15日(土)	歴代受賞者との交流会	市民	参加人数 27名	
応募期間 8月1日(火)～ 10月31日(火)	地球温暖化防止、食品ロス、 海洋汚染をテーマとする動画 を募集し、HP上での人気投票 を実施		応募期間中	応募期間中
投票期間 11月17日(金)～ 12月15日(金)	地球温暖化防止、食品ロス、 海洋汚染をテーマとする動画 を募集し、HP上での人気投票 を実施		応募作品数 96作品	応募作品数 74作品
応募作品審査 12月22日(金)	専門家の意見を参考に、応 募作品の審査を実施		最優秀賞・優秀賞 ともに該当なし 奨励賞 8作品	優秀賞 1作品 奨励賞 3作品

エ. 展示等に関する事業(受託・自主事業)

① 展示コーナーの常設(受託事業)

市民工房で再生した成果品、施設の活動内容に関する動画や環境問題の啓発につながるパネルを展示しました。特に環境問題をSDGsに始まる世界共有の問題として認識し考えてもらうため、諸外国からの来館者に向け可能な限り英語他の他言語表示を行いました。併せてQRコードも有効に活用し、展示内容に関連する情報に容易にアクセスできる仕組みの運用を拡げています。

4階エレベーター前のショーケースに、G7広島サミットで参加各国関係者に配られた日本の環境技術を活用した製品、また新たにCO2削減の取組みとしてアサヒ飲料株式会社様より、CO₂を食べる自動販売機に内蔵するCO2吸収物質の実物をお借りし、それぞれ展示をしました。他にも読売新聞社様提供の廃段ボールを再利用した閲覧台を展示しました。

② 出張展示会(受託事業)

9月11日(月)、12日(火)に大阪工業大学で開催された廃棄物資源循環学会による展示発表会に参加しました。当財団が行っている廃棄物削減、資源循環、環境調和、SDGs等の持続可能な社会に向けた取り組みをパネル展示しました。

9月21日(木)から9月27日(水)にかけて吹田市役所1階ロビーでくるくるプラザの展示を行い、市民研究所・市民工房の紹介、デジタルサイネージによる動画の展示、クイズラリー等も行いました。

1月17日(水)から2月29日(木)まで、ららぽーとエキスポシティ1階吹田市情報発信プラザinforestすいたにて「環境とすいたフェア」と題してマンスリーフェアを開催しました。吹田市で万博が開催された1970年頃のくるくるプラザと現在の様子を対比するパネル写真の展示を始め、新聞紙すいたん人形やそらくる号、DVD動画やパネルでの市民研究所の活動や環境啓発事業の紹介、またプロジェクトチーム、アクションチームの市民研究員による出張体験教室や環境クイズ、エコすごろく等を実施しました。

③ あげます・もらいますコーナーの利用状況(受託事業)

市民から使用しなくなった衣類・食器・皮革製品やその他の未使用品の提供を受け、必要な市民に利用してもらう「あげます・もらいますコーナー」を常設し、HP、SNSやチラシ等での広報を通じて、幅広く市民の利用により資源のリユース(再使用)、リサイクル(再生利用)を促進しました。

品目	持ち込み品	持ち帰り品
衣類	12,502点	9,942点
食器	6,413点	4,966点
合計	18,915点	14,908点
件数	812点	1,830点
前年度	数量	20,408点
	件数	876点

(注) 10月、2月、3月に大阪府社会福祉協議会から依頼があり、あげらの衣類提供を通じて生活支援要請に協力いたしました。また通常の「あげます・もらいますコーナー」に加えて、5月14日(日)のくるくるフリマフェスタと3月10日(日)のくるくる春フェスタ開催時に「あげます・もらいます体験」として衣類(子ども服)の詰め放題をそれぞれ3部制で実施し、併せて66名が体験し好評を博しました。

④ 再生成果品等の販売(自主事業)

工房名	対象品	成果品販売数
布工房	衣類	59点
緑工房	紙パック	7点
自転車工房	自転車	108点
木工工房	家具類	208点
合計		382点
合計(前年度)		386点

販売時期	販売品目	内容
常時	衣類のリフォーム品 紙すき製品 木工小物	市民工房において再生した成果品を販売。
毎月	自転車	毎月1回の抽選販売。売れ残りは随時販売。
9月 3月	家具	オークション販売。売れ残りは随時販売。

対象品	販売数	前年度
セカンド品 (未使用の市民提供品)	1,579点	1,775点

常時	セカンド品	市民から提供を受けた未使用の衣類・食器等を販売。
----	-------	--------------------------

らっくdeフリマ 出店期間	来室者数	出店数	出店形式	出店内容
第1期 R5. 4～R5. 6	1,154名	50店舗	4段ラック 3段ラック 2段ラック ハンガーラック	市民の方に場所を提供し、使わなくなったものなどリメイク・リユース品を中心に展示し、低額で販売
第2期 R5. 6～R5. 8	1,612名	50店舗		
第3期 R5. 9～R5.10	1,300名	50店舗		
第4期 R5. 11～R6. 1	1,247名	50店舗		
第5期 R6. 1～R6. 3	1,206名	50店舗		
合計	6,519名	250店舗		
合計(前年度)	6,346名	265店舗		

オ. 市民・企業参画事業(受託・自主事業)

① もったいないバザール(受託事業)

実施日	参加者		内容			
	団体数	人数				
11月19日(日)	10団体	241名	おもちゃのかえっこバザールと企業の展示ブース、他に市民研究所各チームや工房のリユース、リサイクルを体験できる「もったいないバザール」をプラザ4階広場で実施。 運営はプラザ事務局13名の他、学生やキッズ環境スクールの受講生等の46名のスタッフが担当。			
昨年度 (ごみゼロウォークファイナル)	団体数	人数	缶	びん	ペットボトル	燃焼ごみ
	17団体	309名	48個	8本	48本	90kg

② エコラボパートナーズ(自主事業)

施設の活性化のために、当財団の事業目的を理解し環境保全活動に取り組む市民団体、企業、学生等の様々な団体について、ぐるくるプラザの貸室やその他のスペースを利用し、展示会、講演会、イベント、教室等の開催を申し出た場合、その目的や内容を事前に審査の上、エコラボパートナーズと認定・呼称し、連携を図り協働事業を実施しました。

開催事業名	実施回数	主催者	実施内容	参加者数	前年度		
					実施回数	受講者数	内容
教室 アート クレイシルバー	36回	首藤みな子	不要になったスマホ等からとれるレアメタルを使って再生した銀粘土を利用し、クレイシルバー教室を開催しました。	120名	24回	58名	環境実践教室として実施
イベント GECS体験	3回	大阪大学 環境サークル GECS	ぐるくる夏フェスタ、ぐるくるクリスマス、ぐるくる春フェスタ開催時に環境啓発に繋がる体験を提供しました。	47名	4回	77名	他団体との協働事業としてプラザ内で実施
	GECSクエスト		1回	9月9日(土)に子どもを対象としたSDGsに関するゲーム大会を開催しました。	22名	1回	

(注1)アートクレイシルバーは体験、6回、3回のコース実施を、コース単位でそれぞれ1回としています。

(注2)大阪大学環境サークルGECSの令和4年度の活動には、5月、9月のイベントでの体験参加者数各々22名、17名も含めています。

カ. 環境実践教室の開催(自主事業)

市民が楽しみながら資源の再使用や再生利用を体験できるように以下の環境実践教室を実施しました。

教室名	1教室当 開催日数	実施回数	受講者数	延受講者数	前年度			
					実施回数	受講者数	延受講者数	
布	布のリメイク1日	1日	3回	17名	17名	5回	35名	35名
	布小物	1日	2回	2名	2名	2回	2名	2名
	布体験	1日	4回	34名	34名	6回	60名	60名
家具・木工	木工1日	1日	/	/	/	5回	16名	16名
	夏休みこども木工	1日	4回	52名	52名	4回	66名	66名
	木工体験	1日	4回	60名	60名	6回	76名	76名

クラフト	革小物	1日	24回	36名	36名	48回	50名	50名
	夏休みレザークラフト	1日	2回	5名	5名	/	/	/
	革小物体験 (レザークラフト体験)	1日	/	/	/	3回	42名	42名
包丁研ぎ	1日	3回	27名	27名	2回	21名	21名	
オイル万華鏡	1日	2回	21名	21名	2回	20名	20名	
廃段ボール	廃段ボール夏休み	1日	2回	20名	20名	/	/	/
	廃ダンボール体験 (廃段ボール工作)	1日	4回	66名	66名	4回	55名	55名
LED	LED夏休み	1日	2回	18名	18名	/	/	/
	LED体験 (LED作品制作)	1日	3回	52名	52名	2回	26名	26名
ガラス工芸	バーナーワーク初心者	1日	/	/	/	134回	69名	69名
	バーナーワーク自由3回	3日	/	/	/		39名	49名
	フュージングアクセサリー	1日	/	/	/		95名	95名
	フュージングオブジェ	1日	/	/	/	54回	66名	66名
	サンドブラスト	1日	/	/	/		42名	42名
	3Dペイント	1日	/	/	/		7名	7名
	フュージング体験	1日	5回	64名	64名		3回	97名
陶芸	陶芸3回	3日	/	/	/	6回	18名	54名
	陶芸2回	2日	/	/	/	6回	4名	8名
	陶芸初心者2回	2日	/	/	/	4回	15名	30名
	陶芸夏休み2回	2日	/	/	/	2回	18名	36名
	陶芸夏休み絵付	1日	1回	4名	4名	2回	13名	13名
	陶芸絵付け体験	1日	5回	57名	57名	6回	122名	122名
自転車	自転車整備体験	1日	2回	5名	5名	/	/	/
施設見学後体験	布体験	1日	8回	66名	66名	6回	54名	54名
	木工体験	1日	11回	100名	100名	8回	83名	83名
その他	クレイシルバー3回	3日	/	/	/	12回	48名	100名
	クレイシルバー初心者	1日	/	/	/	12回	10名	10名
	キラキラ時計	1日	/	/	/	1回	4名	4名
	クラフト製作	1日	/	/	/	2回	26名	26名
合計			91回	706名	706名	347回	1,299名	1,434名

(注1) 本年度より「くるくる体験」の名称は「体験」に変更し、各教室の区分に配置しました。

(注2) ガラス教室は体験のみ、陶芸教室は夏休み教室と体験のみとしました。

(注3) アートクレイシルバー教室はエコラボパートナーズへ変更しました。

キ. イベントの開催(自主事業)

① フェスタ

コロナウイルスの感染症区分の5類への変更以降、発生数が低水準で推移していることを受けて、本年度5月から吹田市の方針を受けてフェスタ形式でのイベント実施を再開しました。なお体験等の募集についてはワークショップ形式が長期間に及んだこともあり、事前予約制が市民に幅広く定着したことを受けて、混乱を回避することも狙って事前予約制を継続しました。

事業名	実施日	内 容	(注1) 参加者数	前年度(注2) 参加者数
くるくるプリマ フェスタ	5月14日(日)	コロナ禍で開催が出来なかったフリーマーケットを雨天の場合でも開催可能なように、マルチホールで実施しました。併せて紙すき、ガラス、陶芸絵付け等の各種体験も実施し、市民研究所のATが主催する手作りおもちゃ体験も行いました。 参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、万が一の場合でも来館者保護の徹底に努めて実施しました。	232名	210名
くるくる 夏フェスタ	8月20日(日)	親子で参加しやすい夏休み期間中に、地球環境保全や3Rの輪を広げるためにフェスタを実施しました。 布、木工、ガラス工芸、陶芸絵付け体験等の各種体験や廃段ボール工作・LED作品制作、大学生、GECSによる体験等を行いました。	239名	208名
		令和4年度はコロナ禍により、9月18日(日)にくるくる秋フェスタの代替として、くるくるワークショップを実施しました。令和5年度は9月にくるくるアイデアコンテストと再生家具のオークションに特化して実施したため、フェスタとしての報告はありません。	-	150名
くるくる ハロウィン	10月22日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために体験や廃段ボール工作他を提供するイベントを開催しました。また、ハロウィン仮装やお菓子のすくい取りも行いました。	159名	234名
くるくる クリスマス	12月10日(日)	クリスマスの時期に合わせて、特に子どもを中心とした地球環境や3Rの輪を広げるために、原始力発電自転車のクリスマスイルミネーションの点灯や廃段ボール工作、すいたおはなしの会によるお話、影絵、またGECS他の体験を提供しました。 また、マイ食器啓発及び食ロス兼ねて切畑夢工房より提供してもらった廃棄になる野菜でカレーを調理し販売。マイ食器持参運動を展開した。 実施にあたって保健所への申請を行い、衛生面でも細心の注意を図った。	133名	123名
くるくる 春フェスタ	3月10日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、布、木工、ガラス工芸、陶芸体験に廃ダンボール工作、LED作品制作、また市民研究員による手作りおもちゃATや身近な環境PTによる体験を実施しました。	251名	138名
合 計			1,014名	1,063名

(注1) 参加者数は当日の来館者実数を記載しています。

(注2) 前年度の5月15日(日)は、くるくるワークショップを開催しました。

② その他の催し物

事業名	実施日	内 容	参加者数	前年度参加者数
くるくるアイデア コンテスト	応募期間	応募期間:7月2日(日)~7月30日(日) 投票期間:8月8日(火)~9月6日(水)	48名	11月27日(日) くるくる コレクション 37名
	投票期間	地球環境保全や3Rの輪を広げるために、SDGsも踏まえた様々な3R作品の展示発表会の場として開催しました。今年度は開催名の変更が奏功し、作品応募もバラエティに富み、身近に3Rを意識するきっかけとなる啓発活動となりました。		
	応募作品審査	展示会場及びインターネットでの市民の投票の合計獲得票数を基に、プラザ執行役員及び事務局が最終審査し優秀作品を選出。		
	表彰式 9月17日(日)	優秀作品の制作過程での工夫等を本人が会場で説明後、表彰式を行いました。アイデア大賞は該当者なしで、理事長賞1名、アイデア賞9名という結果になりました。		
再生家具 オークション	9月17日(日)	前年度までコロナ禍で不特定多数の人の密集を避け、抽選販売にしていたが、今年度は再生家具のオークションを開催しました。	70名 (40点)	— (抽選販売)
	3月10日(日)	この開催を通じて、CO ₂ 削減につながる森林資源の保護や、家具を大切に長く使う事の環境への影響を考える機会を提供しました。	60名 (35点)	
ソーラーカー 乗車体験	5月14日(日)	ソーラーカーそらくる号の広場での乗車体験を通して、楽しみながらクリーンエネルギーについて考える機会を提供する予定でしたが、雨天のため中止しました。	—	40名
	8月20日(日)	ソーラーカーそらくる号による広場での乗車体験を通して、楽しみながらクリーンエネルギーについて考える機会を提供しました。	50名	—
	[令和4年] 9月18日(日)		/	25名
	10月22日(日)		50名	62名
	12月10日(日)		34名	37名
	3月10日(日)		50名	39名
合 計			362名	240名

③ おもちゃ病院

各月1回おもちゃ病院を開院し、市民の持ち込んだ壊れたおもちゃを、おもちゃドクターが即日又は入院修理し、リユースの啓発活動を行いました。

開院回数	修理件数	前年度修理件数
各月1回(12回開院)	212件	174件

④ 食ロスあげます・もらいます

当施設の目的の一つである「ゴミ排出量抑制」を進めていくため、10月の食品ロス削減月間に因んで、10月1日(日)から2か月間、来館者に家庭で賞味期限の比較的近い品物を再確認し、食品ロス削減取組の意識を持ってもらう機会を提供しました。これらの取組を通じて食品ロスについてわかりやすく伝え、食品を無駄にしないという意識啓発の一助として今後とも継続して取組んでいく予定です。

実施日	内 容	対象者	食品の預かり数及び持ち帰り数	
			本年度	前年度
開催期間 10月1日(日)～ 11月30日(木)	食品ロスを削減することをテーマに、くるくるプラザ館内のショッピングエリアに食品ロス削減チャレンジコーナーとして食品庫(零蔵庫=れいぞうこ)を設置。 賞味期限間近のものや沢山買いきれなかったために食べ切ることが困難な未開封食品などを集め、それを必要とする人が持って帰ることができる「食ロスあげます・もらいます」実施。	市民	食品の預かり数 210点 食品の持ち帰り数 166点	食品の預かり数 243点 食品の持ち帰り数 139点

ク. リユース食器貸出に関する事業(自主事業)

		件 数	食 器 類	箸 等	前 年 度		
					件 数	食 器 類	箸 等
貸 出	吹田 市内	6件	1,835点	110点	3件	570点	0点
	吹田 市外	17件	25,500点	15,660点	13件	9,131点	4,585点
合 計		23件	27,335点	15,770点	16件	9,701点	4,585点
洗浄作業 受託(注)		1社	2,463点	0点	1社	10,109点	0点
総 計			29,798点	15,770点		19,810点	4,585点

(注) 他の法人・団体が有するリユース食器の洗浄作業を受託するもの。

令和5年3月まで被災救済のため協力していたNPO地域環境デザイン研究所ecotoneが、令和5年4月以降、改めてリユース食器の洗浄機使用を依頼してきたため、吹田市環境部環境政策室の確認・了承を得て使用を許可しました。

	食 器 類	箸 数 (ラック洗浄回数)	前年度	
			食 器 類	箸 数 (ラック洗浄回数)
洗浄機使用	118,689点	221回	24,027点	3回

ケ. 会員(プラザメイト)に関する事業(自主事業)

ごみ問題や地球温暖化などの環境問題をより多くの人々に理解してもらい、つながりを広げてゆくため会員(プラザメイト)を募集しました。会員には財団が発行する情報紙や、各種催しの案内を送付しました。

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

ア. 調査・研究及び実践活動(受託・自主事業)

① 主担研究員による吹田市環境政策への提言及び市民研究員による吹田市主催等のイベントへの参画(受託事業)

主担研究員会議を随時開催し、環境問題について各主担が専門の立場から協議を重ねました。金子泰純主担研究員が廃棄物減量・リサイクルに関する優れた取り組み事例に関する調査報告書をまとめて、吹田市に提出しました。また、主担研究員のプラザへのより積極的な関与の新たな試みとして「くるくるサロン」を開催しました。主担研究員が一般市民に対する対面での情報発信の場として、サロン形式で広く環境にまつわるトピックを取り上げて話をし、寛いだ雰囲気の中で参加者と質疑応答を交えた談話をするものです。

事業名	実施日	内容	参加者数	会場
くるくるサロン	9月24日(日)	講話テーマ:「釈迦が池が世界に知られた日」 黒田 勇 主担研究員	20名	市民研究所 (つながりラボ)
	12月17日(日)	講話テーマ:「語ろう 地球の未来」 三輪 信哉 主担研究員	24名	
	2月21日(水)	講話テーマ:「2050年を考える」 金子 泰純 主担研究員	18名	

	主催団体名	実施日	内容	会場
第1回吹田市ごみ減量再資源化推進会議	吹田市	8月3日(木)	フードドライブの取組報告、ごみ減量に向けた取り組み交換	メイシアター
第2回吹田市ごみ減量再資源化推進会議	吹田市	1月26日(金)	フードドライブの取組報告、ごみ減量に向けた取り組み交換	千里山コミュニティセンター
すいた環境教育フェスタ	吹田市	2月3日(土)	くるくるプラザの紹介と市民研究所の環境啓発活動紹介	くるくるプラザ

吹田市ごみ減量再資源化推進会議に市民研究員の打越明美、福田規子の2名が参加しました。

② 市民研究員による調査・研究及び実践活動(自主事業)

市民研究員がテーマごとにチームを組織し、生活者の視点で調査・研究を行うとともに、啓発・普及のための実践活動を行いました。

プロジェクトチーム(PT) アクションチーム(AT)	活動目標と内容	開催数
P T 市民とお店をエコでつなぐ	「食品ロス削減」は社会の大きな問題でもあるので引き続き研究し、一昨年からの取組んでいる「プラスチックごみ削減」(主に食品トレー、食品容器、ペットボトル)問題を研究する。 ・「プラスチックごみ削減」の告知活動をどのように進めていくか検討した。 ・「食品ロス削減」問題の研究を継続して行った。 ・関西リサイクルシステムズ(株)本社工場を見学した。 ・環境出前講座「風呂敷の包み方講座」の動画作成に取り組んだ。	53回

P T	吹田ごみゼロシステム研究	ごみゼロ(すてるをなくす)へのシステム研究。	34回
		<ul style="list-style-type: none"> ・吹田市と3R取組み上位市町村との比較表作成 ・地域コンポストの実施例の調査中 ・プラごみを資源として回収している優良事例を調査開始した(回収ステーション、市民に対する情報提供など) 「…経済的インセンティブ…」は新入研究員が積極的に取り組んでいる 定例会を月1回から2か月に3回開催に変更したため、調査研究が充実してきた。 3月以降9月末までに26本の記事を発信、週1本の発信をほぼ実現しつつある。 新しい展開として「雑がみキャンペーン」(新聞紙袋の製作)を実施した	
P T	身近な環境を調べよう	吹田市に点在する身近な環境を調べ、現状を把握するとともに、その保全の大切さを啓発する。糸田川同様に「池の観察チェックシート」を用いて環境調査を実施する。	41回
		<ul style="list-style-type: none"> ・市内の代表的な、蓮間池、水遠池、牛ヶ首池、菩提池、春日大池、釈迦ヶ池の6カ所を調査した。 ・調査は、年4回(4/10～5/8、7/2～8/6、10/1～10/29、R6.1/13～2/18)実施した。 ・調査にあたっては、独自の「池の観察チェックシート」を用いて調査するとともに、簡易な水質調査、プランクトン調査、ゴミ量の調査も実施した。 ・調査結果は、池の観察チェックシートにまとめた。 ・調査当日の状況やプランクトンの調査結果については、写真や動画を撮影しフェイスブックに掲載した。 ・定例会は、毎月実施した。 ・糸田川について「キッズ環境スクール」を実施した。 	
P T	SDGs啓発	SDGs啓発を推進する。	38回
		環境出前講座で小学校5校、各2回ずつ10回のカードゲームでの講座を年内にこなした。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境スクール生のカリキュラムとしてカードゲームを実施。 ・「もったいないバザール」にてPTとしてブースを出し、参加者にカードゲームでの啓発活動。 ・定例会も毎月、確実に開催し、個々の交流の場も設ける事が出来た。 ・“くら寿司”をプラザに紹介をしたり、市民研究員研修講座に招いて企業のSDGsへの取り組みを紹介する機会を持たた。 ・プラザ以外の団体の活動にも協力参加する事でネットワークの拡大に繋げる事が出来た。 ・もったいないバザールにNPO法人ディープピープルをプラザに紹介、参加して頂けた。 ・環境出前講座や様々な機会を活用出来るようなゲーム情報を集めて体験会を実施出来た。 ・PTメンバーの井上さんがカードゲームのファシリテーターの認定を取得、活動に貢献。 ・ゲームクリエイターの荒木勇輝氏を迎え“つついカードゲーム”体験会の実施。 	
A T	紙すき体験と環境	牛乳パックをリサイクル啓発することによって、資源の循環型社会を構築することを目指し、ひいては世界の森林を保全することにつながる。	47回
		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のエコクラブなどのクラブ活動への支援に紙すきを体験してもらい、たのしみながら環境保全を啓発した。7件 ・小学4年生の社会見学として破碎選別工場を見学している。見学後に紙すき体験をしてもらって環境保全を啓発した。8件 ・公民館での一般市民 2件 公民館からの紙すき体験依頼は貴重な啓発機会なので大切にしたい。 ・その他(支援学校等) 5件 ・メンバーが若返ったので、スキルアップと人材育成に努めた。 	

A T	手作りおもちゃと環境	<p>廃品を再利用した手作りおもちゃの指導を通して、ごみの減量化と環境問題の啓発・意識の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ支援は4校で実施(吹一小2回、藤白台小4回、千一小3回、山二小2回)。 ・施設見学後の手作り体験は13校で実施。 ・ワークショップを5回実施。 ・インフォレストすいたで環境出前講座を実施。 ・その他6件(万華鏡教室2回、キッズ環境スクール1回、夏休み施設見学2回、教員研修会1回、もったいないバザール1回)。 ・今年の活動は合計37件、参加人数621名。 ・新しいおもちゃの開発は取り組めなかった。 ・ワークショップは低年齢化しているので、その対応が必要。 	59回
		<p>リユース食器からマイ食器へ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームとしてどのようにマイ食器について啓発できるかを定例会で話し合った。 ・象印の展示場へチームで見学に行き、容器のルーツなどを調査した。 ・啓発のために食器のサンプルを購入した。 ・出張展示会を吹田市市役所ロビーにて展示した。 ・マイ食器啓発ATの調査活動として、万博公園で開催されたシティライフさんが主催のロハスフェスタへ参加、マイ食器啓発についての調査を行った。 ・12月イベントで、カレー販売にマイ食器持参運動を行った。 	8回
合 計			280回
合 計 (前 年 度)			(234回)
くるくるつながり広場		環境スクール修了生を主たる対象として、12月23日(土)につながり広場を開催した。各チームからの活動紹介を熱心に聞いていた。	1回
			(2回)

()内は前年度

イ. 研究報告書の発行に関する事業(自主事業)

令和4年度の市民研究所各プロジェクトの研究成果等を研究報告書としてまとめ、6月に発行しました。

ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行(自主事業)

市民研究員の調査・研究、実践活動を中心とした機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行及びホームページへの掲載を行いました。

号 数	No.	発行部数	配 布 先
2023年5月号	315号	各850部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
2023年7月号	316号		
2023年9月号	317号		
2023年11月号	318号		
2024年1月号	319号		
2024年3月号	320号		

エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行(自主事業)

一般市民で構成したスタッフが情報収集し編集した、環境問題に関する身近で役立つ情報を中心とした情報紙「くるくるプラザ」を次のとおり発行し、ホームページにも掲載しました。

号数	発行月	発行部数	配布先
95号	7月	各1,500部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
96号	11月		
97号	3月		

オ. ホームページの公開及び情報スタジオコーナーの常設(自主事業)

財団ホームページの公開を行いました。また情報スタジオコーナーについては、決定したレイアウトに基づき機器設置が完了し一部活動を開始しました。

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

ア. 講演会の開催(受託事業)

事業名	実施日	内容	参加者数	会場
環境問題講演会	6月17日(土)	講演テーマ:「地球温暖化実験クイズ」 講演者: すぎきまどか氏(サイエンスパフォーマー) 環境問題への興味や関心向上につながる、実験やクイズを盛り込んだ地球温暖化に関する講演会	47名	プラザ マルチホール
計		1回	(1回 76名)	

(注)前年度は財団設立30周年記念式典後の記念基調講演及びパネルディスカッション参加者数

()内は前年度

イ. 入門講座(自主事業)

① くるくるキッズ環境スクール

事業名	実施日	内容	対象者	参加者数	会場
くるくる環境スクールのキッズ	7月29日(土)	開講式 環境出前講座 (ふろしきの活用、手作りおもちゃ)	受講者	20名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[4名]	
	8月2日(水)	親子見学バスツアー	受講者	15名	兵庫県立 人と自然の博物館
			[スタッフ]	[3名]	
	9月9日(土)	木工・紙すき体験	受講者	20名	プラザ木工工房 プラザ緑工房
			[スタッフ]	[3名]	
	10月14日(土)	自然環境の理解 糸田川をしらべよう	受講者	12名	糸田川周辺 豊一公民館
			[スタッフ]	[6名]	
	11月19日(土)	もったいないバザールでの かえっこバザールスタッフ体験	受講者	12名	プラザ4階広場他
			[スタッフ]	[8名]	
	12月23日(土)	SDGs啓発PTによるゲーム他 及び閉校式	受講者	16名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
計	6回	のべ 受講者数	95名	(6回 112名)	

(注)参加者数には保護者数も含まれます。

()内は前年度

② ぐるぐる環境スクール・研修講座

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
ぐるぐる環境スクール	6月10日(土)	開講式及び 破砕選別工場、市民工房の見学	受講者	5名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[5名]	
	6月17日(土)	環境問題講演会聴講 「地球温暖化実験クイズ」 講演者: すぎきまどか氏 (サイエンスパフォーマー)	受講者	8名	プラザ マルチホール
			[スタッフ]	[7名]	
	7月15日(土)	出前講座(SDGsカードゲーム)	受講者	8名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[12名]	
	8月26日(土)	木工工房体験	受講者	4名	プラザ木工工房
			[スタッフ]	[5名]	
	9月30日(土)	① 所長と市民研究員との交流 ② 出前講座(紙すき、ふろしき、おもちゃ)	受講者	4名	プラザ講義室2
[スタッフ]			[11名]		
10月7日(土)	市民研究員研修講座 講師: 金子泰純 主担研究員 テーマ: 「プラスチックを考える」	受講者	4名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[5名]		
10月28日(土)	見学バスツアー 里山散策と施設内見学	受講者	4名	京都里山SDGsラ ボ	
		[スタッフ]	[3名]		
12月2日(土)	令和5年度市民研究所 研究実践発表会	受講者	2名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[5名]		
12月23日(土)	閉校式と交流会 環境、市民研究所について語ろう	受講者	4名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[13名]		
計		9回	のべ 受講者数	43名	(8回 113名)

()内は前年度

ウ. 研修講座(自主事業)

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
市民研究員 研修講座	8月5日(土)	テーマ: 「危機を救う、サステイナブル・シーフードへの取組について」 講師: 戸木田彩香氏 (くら寿司広報部)	受講者	20名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[5名]	
	10月7日(土)	テーマ: 「プラスチックを考える」 講師: 金子泰純 主担研究員	受講者	21名	プラザ講義室2
[スタッフ]			[4名]		
1月6日(土)	テーマ: 「身の周りから見つめる 環境問題」 講師: 内田慶市 主担研究員	受講者	13名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[5名]		
計		3回	のべ 受講者数	54名	(3回 50名)

()内は前年度

エ. 環境出前講座の実施(自主事業)

施設見学後の体験としてプラザ施設内で実施しました。小中学校の授業・クラブ活動、環境学習等を対象とし、市民研究員が出向く実践講座については要請に基づき実施しました。

実 施 日	内 容	対象者	参加者数	会 場
5月9日(火)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	青山台 小学校 4年生	13名	プラザ講義室2
5月9日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき	青山台 小学校 4年生	14名	プラザ緑工房
5月9日(火)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	青山台 小学校 4年生	14名	プラザ講義室1
5月10日(水)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	北山田 小学校 4年生	19名	プラザ講義室2
5月10日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき	北山田 小学校 4年生	19名	プラザ緑工房
5月10日(水)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	北山田 小学校 4年生	19名	プラザ講義室1
5月11日(木)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	吹田第一 小学校 4年生	19名	プラザ講義室2
5月11日(木)	【施設見学後の体験】 紙すき	吹田第一 小学校 4年生	10名	プラザ緑工房
5月11日(木)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	吹田第一 小学校 4年生	8名	プラザ講義室1
5月14日(日)	【くるくるワークショップ】 手作りおもちゃ (鯉のぼり風車)	事前予約の 4才～小学生	13名	プラザ市民工房3
5月17日(水)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	岸部第一 小学校 4年生	20名	プラザ講義室2
5月17日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき	岸部第一 小学校 4年生	6名	プラザ緑工房
5月17日(水)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	山田第二 小学校 4～6年生	28名	山田第二小学校 理科室
5月17日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	吹田第一 小学校 4～6年生	12名	吹田第一小学校 理科室

5月22日(月)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (びっくり箱)	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工室
5月22日(月)	【クラブ支援】 紙すき	藤白台 小学校 4～6年生	14名	藤白台小学校 理科室
5月31日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	千里丘北 小学校 5～6年生	23名	千里丘北小学校 6年教室
6月15日(木)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	高野台 小学校 4年生	17名	プラザ講義室2
6月15日(木)	【施設見学後の体験】 紙すき	高野台 小学校 4年生	14名	プラザ緑工房
6月15日(木)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	高野台 小学校 4年生	7名	プラザ講義室1
6月19日(月)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	千里第一 小学校 4～6年生	27名	千里第一小学校
6月22日(木)	【施設見学後の体験】 紙すき	山田第一 小学校 4年生	22名	プラザ緑工房
6月22日(木)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	山田第一 小学校 4年生	19名	プラザ講義室1
6月22日(木)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	山田第一 小学校 4年生	21名	プラザ講義室2
6月24日(土)	【出前講座】 紙すき	大人10名 子ども10名	20名	豊一公民館
6月26日(月)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (二連風車)	藤白台 小学校 4～6年生	14名	藤白台小学校
6月27日(火)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	吹田第二 小学校 4年生	20名	プラザ講義室2
6月27日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき	吹田第二 小学校 4年生	13名	プラザ緑工房
6月28日(水)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (ヘリコプター)	吹田第一 小学校 4～6年生	13名	吹田第一小学校
6月28日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	山田第二 小学校 4～6年生	29名	山田第二小学校

7月10日(月)	【クラブ支援】 紙すき	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小 図工室
7月10日(月)	【クラブ支援】 エコなお買い物ゲーム	藤白台小学校 4～6年生	13名	藤白台小 理科室
7月14日(金)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	吹田東小学校 4年生	18名	プラザ マルチホール
7月14日(金)	【施設見学後の体験】 紙すき	吹田東小学校 4年生	13名	プラザ緑工房
7月15日(土)	【くるくる環境スクール】 SDGsについて考えよう	くるくる 環境スクール 受講生	20名	プラザ講義室2
7月21日(金)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	夏休み施設 見学会	14名	プラザ マルチホール
7月22日(土)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	夏休み施設 見学会	11名	プラザ マルチホール
7月27日(木)	【環境出前講座】 紙すき	高槻市立 第七中学校	5名	プラザ緑工房
7月29日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 ふるしきの活用	くるくるキッズ 環境スクール生 1～3年生	10名	プラザ講義室2
7月29日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	くるくるキッズ 環境スクール生 1～3年生	10名	プラザ講義室2
8月2日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき	放課後児童クラブ	16名	プラザ緑工房
8月20日(日)	【くるくるワークショップ】 手作りおもちゃ (水車ボート)	事前予約の 4歳～小学生	22名	プラザ工房3
8月22日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき	全国教員夏季研修 学校保健部会 養護教諭	10名	プラザ緑工房
8月22日(火)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	全国教員夏季研修 学校保健部会 養護教諭	9名	プラザ講義室2
8月22日(火)	【施設見学後の体験】 ふるしきの活用	全国教員夏季研修 学校保健部会 養護教諭	12名	プラザ講義室1
9月2日(土)	【環境出前講座】 紙すき	山二公民館講座	15名	山二公民館
9月9日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 紙すき	くるくるキッズ 環境スクール生 1～3年生	11名	プラザ緑工房
9月11日(月)	【クラブ支援】 ふるしきの活用	藤白台小学校 4～6年生	14名	藤白台小 理科室
9月13日(水)	【クラブ支援】 紙すき	吹田第一 小学校 4～6年生	13名	吹田第一小 理科室

9月13日(水)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (ヘリコプター)	山田第二 小学校 4～6年生	26名	山田第二小 理科室
9月30日(土)	【くるくる環境スクール】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	くるくる環境 スクール生	2名	プラザ講義室2
9月30日(土)	【くるくる環境スクール】 紙すき	くるくる環境 スクール生	4名	プラザ緑工房
9月30日(土)	【くるくる環境スクール】 ふろしきの活用	くるくる環境 スクール生	4名	プラザ講義室2
10月6日(金)	【施設見学後の体験】 紙すき	江坂大池 小学校 4年生	20名	プラザ緑工房
10月6日(金)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	江坂大池 小学校 4年生	20名	プラザ講義室1
10月6日(金)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ (十字プロペラ)	江坂大池 小学校 4年生	20名	プラザ講義室2
10月14日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 糸田川を調べよう	くるくるキッズ 環境スクール生 1～3年生	12名	糸田川周辺
10月19日(木)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ	摂津支援学校	8名	プラザ市民研究所
10月19日(木)	【施設見学後の体験】 紙すき	摂津支援学校	13名	プラザ緑工房
10月22日(日)	【くるくるワークショップ】 手作りおもちゃ (マスカレードマスク)	事前予約の 4歳～小学生	20名	プラザ市民研究所
10月23日(月)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	千里第一 小学校 4～6年生	24名	千里第一小 図工室
10月23日(月)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ	藤白台 小学校 4～6年生	14名	藤白台小 理科室
10月25日(水)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	吹田第一 小学校 4～6年生	11名	吹田第一小 理科室
10月25日(水)	【クラブ支援】 紙すき	山田第二 小学校 4～6年生	26名	山田第二小 理科室
11月6日(月)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (びっくり箱)	藤白台 小学校 4～6年生	11名	藤白台小 理科室

11月20日(月)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (2連風車)	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小 図工室
11月21日(火)	【施設見学後の体験】 手作りおもちゃ	味生小学校 4年生	9名	プラザ市民研究所
11月21日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき	味生小学校 4年生と先生	21名	プラザ緑工房
11月22日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	吹田第一 小学校 4～6年生	13名	吹田第一小 理科室
11月29日(水)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	山田第二 小学校 4～6年生	22名	山田第二小 理科室
12月10日(日)	【くるくるワークショップ】 手作りおもちゃ (からくり屏風)	事前予約の 4歳～小学生	8名	プラザ マルチホール
12月11日(月)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	千里第一 小学校	27名	千里第一小 図工室
12月13日(水)	【クラブ支援】 紙すき	吹田第一 小学校 4～6年生	13名	吹田第一小 理科室
12月18日(月)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	藤白台 小学校 4～6年生	16名	藤白台小 理科室
12月20日(水)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (2連風車)	山田第二 小学校 4～6年生	28名	山田第二小 理科室
12月23日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 SDGsについて考えよう	くるくるキッズ 環境スクール生 1～3年生	16名	講義室2
1月10日(水)	【クラブ支援】 食品ロスカードゲーム	千里丘北 小学校 5～6年生	23名	千里丘北小学校 6年教室
1月12日(金)	【施設見学後の体験】 紙すき	千里金蘭大学 1回生	24名	プラザ緑工房
1月20日(土)	【出前講座】 ふろしきの活用	インフォレスト すいた 一般	3名	インフォレスト すいた
1月21日(日)	【出前講座】 手作りおもちゃ (レインボーコマ)	インフォレスト すいた 一般	40名	インフォレスト すいた

1月22日(月)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (レーシングカー)	千里第一 小学校 4～6年生	23名	千里第一小 図工室
1月22日(月)	【クラブ支援】 すごろくゲーム	藤白台 小学校 4～6年生	14名	藤白台小 理科室
1月28日(日)	【出前講座】 ふろしきの活用	インフォレスト すいた 一般	11名	インフォレスト すいた
1月31日(水)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (2連風車)	吹田第一 小学校 4～6年生	14名	吹田第一小 理科室
1月31日(水)	【クラブ支援】 紙すき	山田第二 小学校 4～6年生	23名	山田第二小 理科室
2月3日(土)	【出前講座】 紙すき	環境教育 フェスタ 一般	127名	プラザ緑工房
2月7日(水)	【クラブ支援】 エコなお買い物ゲーム	吹田第一 小学校 4～6年生と先 生	12名	吹田第一小 理科室
2月7日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	山田第二 小学校 4～6年生	28名	山田第二小 理科室
2月10日(土)	【出前講座】 雑紙キャンペーン	インフォレスト すいた 一般	18名	インフォレスト すいた
2月17日(土)	【出前講座】 手作りおもちゃ (レインボーコマ)	インフォレスト すいた 一般	34名	インフォレスト すいた
2月19日(月)	【出前講座】 ごみの12種分別ゲーム	千里第一 小学校 4～6年生	24名	千里第一小 図工室
2月19日(月)	【クラブ支援】 手作りおもちゃ (UFOぶんぶんゴマ)	藤白台 小学校 4～6年生	13名	藤白台小 理科室
3月4日(月)	【クラブ支援】 食ロスカードゲーム	千里第一 小学校 4～6年生	23名	千里第一小 図工室
3月10日(日)	【くるくるワークショップ】 手作りおもちゃ (ヘリコプター)	事前予約の 4歳～小学生	23名	くるくるプラザ
計		94回	1,686名	(58回 951名)

()内は前年度

オ. 環境学習発表会及び展示発表会の開催(自主事業)

教室からの発信「広がれ！環境の輪」と題して、小中学校等で取り組まれている環境学習の成果を発表、交流しあう発表会と展示発表会は、新型コロナウイルス感染状況を考慮した上で次のとおり実施しました。尚、メイシアターでの展示は環境教育フェスタと同時開催で行いました。

① 環境学習発表会(動画)

開催日(期間)	開催場所(上映)	参加校数(作品数)	前年度
2月3日(土)	くるくるプラザマルチホール	小学校2校(6作品) 中学校1校(4作品)	小学校2校 高校1校
2月3日(土)～3月31日(日)	くるくるプラザホームページ(WEB上)		

② 環境学習展示発表会

開催日(期間)	開催場所(展示)	参加校数(作品数)	前年度
2月3日(土)～2月9日(金)	くるくるプラザマルチホール	小学校14校(140作品) 中学校1校(1作品)	小学校8校

カ. 職場体験・大学関係等の支援(自主事業)

吹田市立中学校・インターンシップ学生の受入れ状況は次のとおりでした。

区分	期 間	学校名	人数	内 容
インターンシップ	8月16日(水) ～20日(日)	大阪経済大学	1名	破碎選別工場とエネルギーセンターの施設見学と、事務局業務の補助作業。インターンシップ生より要望のあった情報発信をメインに、プラザ館内を自ら取材して貰い、SNSで投稿しました。
職場体験学習	2月28日(水) ～29日(木)	吹田市立第一中学校	2名	破碎選別工場、くるくるプラザ各市民工房とエネルギーセンターの施設見学と、各工房、ショッピングエリア及び事務局業務の作業補助等を体験し学習してもらいました。
合 計		2校	3名	(2校 2名)

()内は前年度

2. 収益事業等として、次の事業を実施しました。(収1)

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務を、次のとおり実施しました。

(1) 施設の管理運営

ア. 貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務(受託事業)

貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務を行いました。使用件数、使用者数及び使用料の徴収額は下記のとおりでした。

開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額	前年度			
				開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額
293日	666件	15,098名	550,500円	292日	605件	13,049名	466,950円

イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務(受託事業)

指定された建物部分及び貸与備品等の管理業務を行いました。

3. 管理事業(法人会計)

(1) 財団の管理運營業務(自主事業)

次期(令和9年～)の当施設の指定管理者選定について、当財団が十分な実力を兼ね備える存在として認知され信任に足ることを目的とし、管理運営能力の向上に努めるための取組みを実施しました。

第三者モニタリング委員より館内展示の統一感の欠如や古さについての改善検討の指摘を受けた施設リノベーションについては、3月26日(火)に世界中の博物館の展示を研究し造詣の深い村田麻里子関西大学社会学部メディア専攻教授を招き、展示概論の講義に続いて、展示の具体的改善方法についても、参加した主担研究員3名、吹田市環境部環境政策室職員3名、プラザ事務局職員6名と質疑応答を行うことで理解を深めました。

ア. 環境助成金獲得事業

公益財団法人SOMPO環境財団による2023年度「環境保全プロジェクト助成」について、くるくるキッズ環境スクールの中級コース展開のための事業資金獲得を目指して応募しましたが、助成対象の選外となりました。今後も環境助成金の獲得を目指して取り組んでいきますが、当財団の資産状況が一般の小規模NPO法人等と比較して潤沢に見えることが、助成対象の選考にあたり不利になっている可能性もあるとの指摘もあり、今後はより広い視野に立ちクラウドファンディングを含めた他の助成方式についても、有用性並びに実現可能性の観点を踏まえて検討に取りかかりました。

上記以外にも、JICAの環境問題研修で当施設の見学を実施している(公財)地球環境センターに、協働の実現可能性や必要とされる資質や能力に関して聞取調査を行いました。JICAに有償提供できる付加価値の高い見学コース開発を目指していますが、その前提として環境に係る専門知識の向上はもとより、英語での説明能力や破碎選別工場、資源循環エネルギーセンター、吹田市環境部との連携が必須であり、実現の可否についてさらに検討を進めます。

イ. 職員研修

本年度も、プラザ職員の環境に係る専門知識の獲得や対応能力向上を図るため、事務局職員の環境社会検定試験(エコ検定)の受験を推進し、対象となる5名が全員合格しました。

ウ. 財団名称変更

当財団名称の変更については引続き検討を行っておりますが、吹田市の施設である資源リサイクルセンターの名称変更や施設の有効活用のための貸室の指定や取扱変更等に係る吹田市資源リサイクルセンター条例の改正も、時期を同じくして実施いただくことが望ましく、吹田市に継続して要望させていただきました。施設の新たな利用方法として民間のリユース業者による貸室の商用での活用についても、調査を継続し実現の可否を検討しています。